

要 望 書

〔 学校環境の安全の確保について 〕

自由民主党愛知県議員団

公明党愛知県議員団

学校環境の安全の確保について

本年7月、愛知県豊田市において、小学1年生の児童が校外学習先から学校へ戻った後、熱中症で死亡し、また、6月には、大阪府北部を震源とする地震により、同府高槻市の小学校のブロック塀が倒壊し、小学4年生の児童が死亡するという痛ましい事故が発生しました。

その背景としては、学校施設の整備に活用するための学校施設環境改善交付金の国の予算が十分に確保されていないため、空調設備の設置やブロック塀等の点検・撤去より校舎等の耐震化対策や老朽化対策が優先されてきたことに加え、対象工事費に下限額の制約があり、同交付金が活用できない場合があることなどが指摘されております。

これらの事故を踏まえ、本県を始め県内の市町村では、小中学校等への空調設備の設置や整備計画の前倒し、ブロック塀等の点検・撤去など、学校環境の安全を確保するための対応が加速しておりますが、こうした児童生徒の命を守るための取組を一層加速させるためには、国の財政支援の拡充が不可欠であります。

よって、国におかれては、学校環境の安全の確保を図るため、下記事項について特段の措置を講じられるよう強く要望いたします。

記

- 1 空調設備の設置に対する補助については、必要な予算を十分に確保することはもとより、補助単価の引上げや対象工事費の下限額の引下げを行うなど、活用しやすくすること。

- 2 ブロック塀等については、点検・撤去などの安全対策を速やかに実施できるよう、必要な財政支援を行うとともに、6月の地震以降、既に事業着手した安全対策についても支援対象とすること。
- 3 空調設備の設置及びブロック塀等の安全対策に対する補助に係る予算を重点配分すること。

平成30年11月9日

自由民主党愛知県議員団

団 長	伊 藤 勝 人
幹 事 長	坂 田 憲 治
総務会長	青 山 省 三
政調会長	渡 辺 昇

公明党愛知県議員団

団 長	渡 会 克 明
幹 事 長	犬 飼 明 佳
政策審議会長	岡 明 彦